

うべ ECO チャレンジ (えーこっちゃ)
[宇部市地球温暖化対策実行計画 (事務事業編)]
令和4年度 (上半期) の取組結果

1 新しい算定方式による温室効果ガスの排出量の結果

	令和3年度上半期	令和4年度上半期	発生源
CO2(二酸化炭素) (エネルギー起源)	10,106	10,500	燃料の燃焼、電気の使用
CO2(二酸化炭素) (非エネルギー起源)	6,881	8,538	廃プラスチック類の焼却
CH4 (メタン)	268	245	下水の処理、浄化槽による処理、ごみの焼却、自動車の走行
N2O (一酸化二窒素)	993	938	ボイラー、ディーゼル機関による燃焼、自動車の走行
HFC (ハイドロフルオロカーボン)	3	3	カーエアコン
合計	18,251	20,224	

(t-CO2)

結果

10.8% 増加

電気使用量とCO2排出係数及びCO2排出量の年度比較

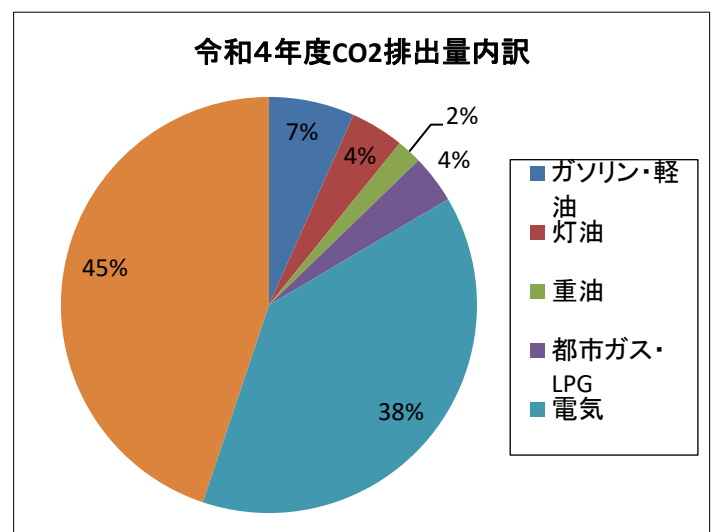
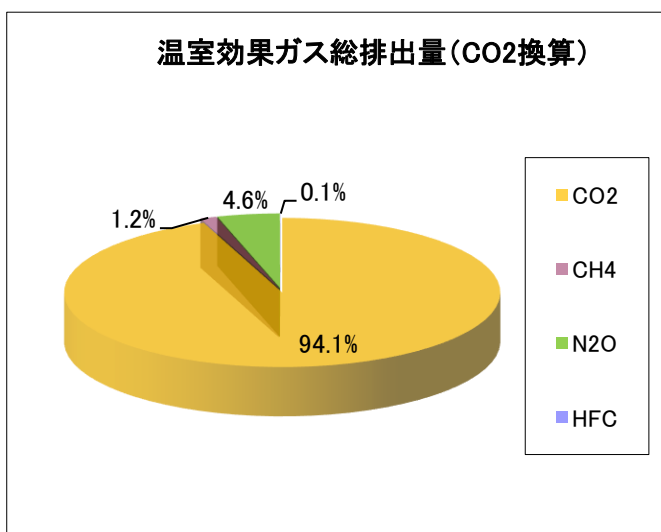
		中国電力(株)	うべ未来エネルギー(株)	(株)ESS	丸紅新電力(株)	計
電気 使用量 (kWh)	令和3年度 上半期	9,959,190	5,346,814	226,437	165,612	15,698,053
	令和4年度 上半期	10,778,978	4,762,386	255,699	187,468	15,984,531
算定に使用した CO2基礎 排出係数 (t-CO2 /kWh)	令和3年度 上半期	0.000561	0.000134	0.000634	0.000308	
	令和4年度 上半期	0.000531	0.000299	0.000538	0.000379	
CO2 排出量 (t-CO2)	令和3年度 上半期	5,587	716	144	51	6,498
	令和4年度 上半期	5,724	1,424	138	71	7,356
	令和3年度 -令和4年度	-137	-707	6	-20	-858

【分析結果】

令和3年度上半期と比較すると、エネルギー起源、非エネルギー起源ともに二酸化炭素の排出量が増加しており、エネルギー温室効果ガス排出量は10.8%増加した。エネルギー起源においては、コロナ禍における施設利用等の制限が緩和されたことでイベント等が増加したことや、焼却場の基幹的設備改良工事に伴い発電設備が停止したことで買電量が増加したことなどにより、灯油以外のエネルギー使用量が増加したことが要因である。また、うべ未来エネルギー(株)の電気使用量は減少しているが、前年度と比べ排出係数が増加したため、二酸化炭素排出量が倍増となっている。

非エネルギー起源においては、焼却場で焼却される一般廃棄物に含まれる廃プラスチック類の割合が前年度より高くなったことで、排出量が大幅に増加している。

下半期は、これまでに培った省エネ手法と、職員の省エネ意識により排出量を削減できるよう努める必要がある。



本市の事務事業における温室効果ガス排出量の94.1%を占めるCO2の組成を見ると、一般廃棄物に含まれる廃プラスチックの焼却によるものと他人から供給された電気の使用によるものが大きな割合を占めている。CO2排出量削減のためには、各公共施設において、省エネに向けた設備更新や運用対策などの取組の実施が必要不可欠である。

2 温室効果ガス削減のための取組の結果

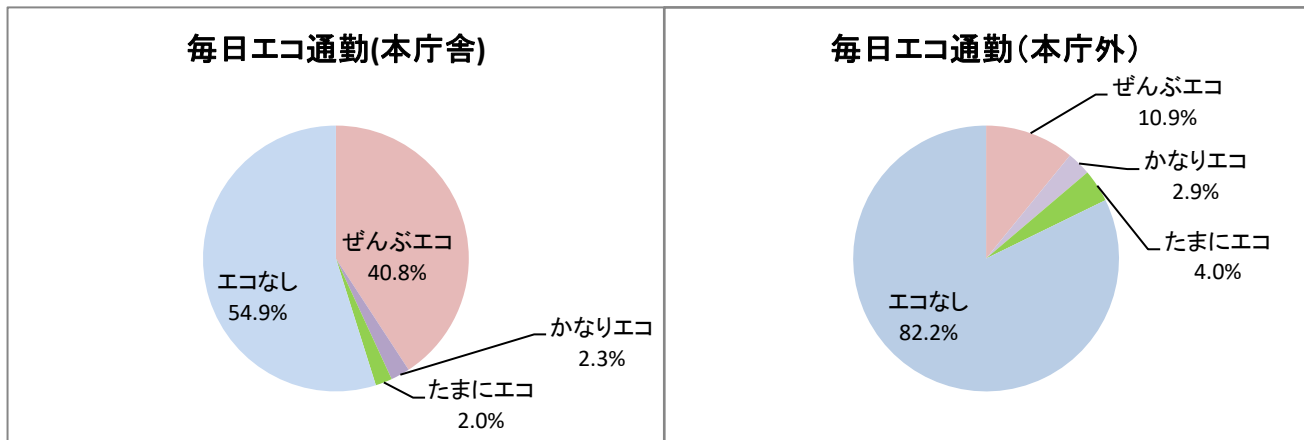
年間を通じて、エネルギー使用量等が増加した施設が多く、グリーン購入率を除く10項目のうち7項目で増加となった。

目標番号	項目	分類	令和3年度 上半期	令和4年度 上半期	削減率	取組状況
①	グリーン購入率 (%)	市全体	99.9%	99.8%	-	調達の難しいケースや適合物品がない場合を除き、各課でグリーン購入が実施できている。
②	コピー用紙 (千枚)	市全体	14,938	14,154	5.2%	新たな制度・サービスの周知等により増加した課等もあるが、小中学校においてペーパーレス化が促進したことなどから全体で5.2%の削減となった。
③	燃やせるごみの 総排出量 (t)	オフィス	6.2	7.3	-17.7%	新庁舎移転に伴う執務室等の整理により、全体で17.7%の増加となった。
④	ガソリン使用量 (kl)	市全体	56.2	57.6	-2.5%	施設使用量は機器の適正な使用等により19.2%減少したが、公用車使用量は機構改革における業務拡大等により3.9%増加し、全体で2.5%の増加となった。
⑤	軽油使用量 (kl)	市全体	430.2	438.9	-2.0%	全体の使用量の92.5%を占める交通局において、コロナ禍からの回復傾向により、貸切バスの利用が増加したことから、軽油使用量が4.6%増加し、全体で2.0%の増加となった。
⑥	重油使用量 (kl)	市全体	129.6	136.9	-5.6%	リサイクルプラザにおいて、焼却場の基幹的設備改良工事に伴う防爆用蒸気供給停止により、蒸気を発生するボイラを稼働させたこと等が要因となり、全体の使用量が5.6%増加した。
⑦	灯油使用量 (kl)	市全体	526.6	318.1	39.6%	焼却場における基幹的設備改良工事の進捗に伴い、設備の故障発生頻度が低下するとともに焼却炉へのごみ供給が安定し、かつ適切な運転管理が行えたことにより、全体で39.6%減少となった。
⑧	都市ガス使用量 (千m ³)	市全体	209.5	212.3	-1.3%	渡辺翁記念会館の利用がコロナ禍からの回復により、増加したこと及び小中学校の空調(ガス式)稼働日数増などにより、1.3%増加となった。
⑨	LPガス使用量 (千m ³)	市全体	37.6	37.8	-0.5%	コロナによる制限の緩和に伴い、施設等の使用が増加したことにより、0.5%の増加となった。
⑩	電気使用量 (千kWh)	市全体	15,698.1	15,984.5	-1.8%	焼却場において、基幹的設備改良工事に伴い発電設備を停止したことから買電量が大幅に増加し、1.8%の増加となった。
⑪	水道使用量 (千m ³)	市全体	235.9	223.0	5.5%	小中学校において漏水工事が完了したことや、宇部テクノパーク排水ポンプ場で水道の使用がなくなったこと等により、全体で5.5%の減少となった。

【エコ通勤基準】

通勤距離が5キロ以内、または利便性の高いバス路線のバス停やJR路線の駅から1キロ以内に住居がある。

目標番号	項目	その他①	毎日エコ通勤				計	実施率 令和4年度 上半期	実施率 令和3年度 上半期	取り組み状況
			エコ通勤実施率	エコ通勤 該当	エコ通勤 非該当					
本庁舎	区分								エコ通勤実施率100%の割合が減少し、逆に0%の割合が増えている。	
	ぜんぶエコ	100%	264	17	281	40.8%	43.4%			
	かなりエコ	50%以上100%未満	12	4	16	2.3%	1.9%			
	たまにエコ	50%未満	10	4	14	2.0%	2.7%			
	エコなし	0%	203	175	378	54.9%	51.9%			
	計		489	200	689					
本庁外	区分								エコ通勤実施率100%の割合が減少し、逆に0%の割合が増えている。	
	ぜんぶエコ	100%	72	10	82	10.9%	11.6%			
	かなりエコ	50%以上100%未満	15	7	22	2.9%	3.4%			
	たまにエコ	50%未満	15	15	30	4.0%	3.7%			
	エコなし	0%	238	382	620	82.2%	81.3%			
	計		340	414	754					



目標番号	項目	その他②	エコ通勤デー				取組状況
			通勤者数	実行者数	実施率 令和4年度 上半期	実施率 令和3年度 上半期	
	区分						本庁舎では、43.2%と前年度より2.8%減少し、出先職場では、15%と前年度と同程度であった。コロナ禍にあって、感染防止対策の観点から、公共交通機関の利用よりマイカー通勤が優先される状況となった。
	本庁舎	664	287	43.2%	46.0%		
	本庁外	678	102	15.0%	15.0%		
	R4計	1,342	389	29.0%	30.2%		

